# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月９日


上場会社名　　日本カーバイド工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4064　　ＵＲＬ　https://www.carbide.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）杉山　孝久
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経営企画部長　（氏名）熊倉　克一　　ＴＥＬ　03-5462-8224

半期報告書提出予定日　　2026年11月10日　　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 26,127 | 7.7 | 2,846 | 35.9 | 2,851 | 20.6 | 1,792 | 17.0 |
| 2026年３月期中間期 | 24,262 | 3.8 | 2,093 | 65.7 | 2,363 | 71.1 | 1,531 | 80.6 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,801百万円（384.8%）　2026年３月期中間期　577百万円（△78.4%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 192.15 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 164.33 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 65,348 | 43,180 | 61.8 |
| 2026年３月期 | 62,765 | 40,948 | 61.3 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　40,403百万円　2026年３月期　38,458百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 41.00 | ― | 51.00 | 92.00 |
| 2027年３月期 | ― | 67.00 | | | |
| 2027年３月期（予想） | | | ― | 96.00 | 163.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
配当予想の修正については、本日（2026年11月９日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 52,000 | 4.2 | 5,700 | 39.2 | 5,700 | 24.4 | 3,800 | 45.7 | 407.41 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）注記事項（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 9,419,659株 | 2026年３月期 | 9,419,659株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 90,330株 | 2026年３月期 | 94,226株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 9,327,102株 | 2026年３月期中間期 | 9,318,999株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料５ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料については、2026年11月９日（月）に当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5

２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）中間連結貸借対照表 …… 6
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 8
中間連結損益計算書 …… 8
中間連結包括利益計算書 …… 9
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）注記事項 …… 11
（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 11
（セグメント情報等の注記） …… 11
（株主資本の金額の著しい変動） …… 11
（継続企業の前提に関する事項） …… 11
（収益認識関係） …… 12

## １．経営成績等の概況

### （１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴う原材料供給への懸念や米国の追加関税措置の動向、中国経済の減速などにより、先行き不透明な状況が続きました。

地域別では、日本においては物価上昇の影響などにより個人消費は力強さを欠く状況で推移しました。中国においては、不動産市場の低迷を背景に内需は弱含みで推移しました。欧州及び米国においては、景気は底堅く推移したものの、関税政策や地政学リスクなど先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの事業では、電子・機能製品は、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加したことに加え、粘・接着剤の製品価格の改定が損益へプラスに影響しました。フィルム・シート製品は、二輪車及び四輪車関連製品の出荷が増加しました。建材関連は、戸建て向け建材の売上が減少しました。エンジニアリングは、EPC事業（Engineering：設計　Procurement：調達　Construction：建設の３工程を一貫して引き受ける事業）の売上が増加したものの、一部大型案件における原価増が損益へマイナスに影響しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は前年同期比1,865百万円（7.7%）増の26,127百万円、営業利益は前年同期比752百万円（35.9%）増の2,846百万円、経常利益は前年同期比487百万円（20.6%）増の2,851百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比260百万円（17.0%）増の1,792百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（電子・機能製品）

当該事業の主な取扱製品は、レジスト用化学品や電子材料用化学品、医農薬用化学品などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、金型クリーニング材や電子部品用セラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に加え、生成AI向け先端半導体の需要拡大に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。

機能樹脂は、光学関連分野向け粘・接着剤の出荷が減少したものの、製品価格の改定により損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

電子素材は、電子部品向け製品の出荷が増加したものの、高付加価値品の販売比率低下や原材料価格の上昇などにより、前年同期比増収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前年同期比239百万円（2.9%）増の8,500百万円、セグメント利益は前年同期比182百万円（25.3%）増の905百万円となりました。

（フィルム・シート製品）

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカーなどの加飾機能フィルム、再帰反射シートなどの光学機能フィルムであります。

加飾機能フィルムは、二輪車関連製品及び北米向け四輪車用3Dエンブレムの出荷が増加したことに加え、為替により損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

光学機能フィルムは、欧州向けナンバープレート用反射シートの出荷が増加したことに加え、為替により損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前年同期比1,237百万円（11.8%）増の11,697百万円、セグメント利益は前年同期比581百万円（41.1%）増の1,994百万円となりました。

（建材関連）

当該事業の主な取扱製品は、高強度高機能手すりや、住宅用アルミ建材、樹脂押出成形品などであります。

高強度高機能手すりの売上が増加したものの、戸建て向け建材の売上が減少したことに加え、アルミ地金価格高騰による原材料価格上昇が損益へマイナスに影響し、当セグメントの売上高は前年同期比270百万円（7.2%）減の3,479百万円、セグメント利益は前年同期比36百万円（46.3%）減の42百万円となりました。

（エンジニアリング）

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備やカーボンニュートラルトランジション設備などであります。

製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備やEPC事業（Engineering：設計　Procurement：調達　Construction：建設の３工程を一貫して引き受ける事業）の売上が増加したものの、一部大型案件における原価増が損益へマイナスに影響し、当セグメントの売上高は前年同期比815百万円（42.7%）増の2,727百万円、セグメント利益は前年同期比28百万円（15.1%）減の162百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当中間連結会計期間末における総資産は、前期末比2,582百万円増加し、65,348百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権の増加などにより、前期末比2,405百万円増加し、41,321百万円となりました。固定資産は、前期末比176百万円増加し、24,026百万円となりました。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債は、前期末比349百万円増加し、22,167百万円となりました。

このうち、流動負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比713百万円増加し、12,814百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比363百万円減少し、9,352百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間末の有利子負債残高は、前期末比691百万円減少し、6,416百万円となりました。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末の純資産は、前期末比2,232百万円増加し、43,180百万円となりました。

このうち、株主資本は、前期末比1,304百万円増加し、28,567百万円となりました。その他の包括利益累計額は、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比639百万円増加し、11,835百万円となりました。

なお、自己資本比率は前期末比プラス0.5ポイントの61.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは165百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは330百万円の支出となり、フリー・キャッシュ・フロー（営業活動と投資活動による各キャッシュ・フローの合計）は、164百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは1,279百万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は前連結会計年度末比1,039百万円減少して、12,802百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前中間純利益は増加したものの、増収に伴う売上債権の増加など運転収支の悪化等により、前年同期比1,558百万円収入が減少し、165百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

定期預金の払戻による収入が増加したものの、定期預金の預入による支出が増加したことなどにより、前年同期比90百万円支出が増加し、330百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

借入金の返済による支出が減少したことなどにより、前年同期比558百万円支出が減少し、1,279百万円の支出となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間は、製品価格の改定や高付加価値製品の販売構成比上昇等に加え、為替相場が当初想定より円安で推移したことにより、営業利益が当初の想定を上回りました。

下期については、全体として概ね当初計画どおりに推移する見通しであり、生成AI向けデータセンター投資の拡大等を背景に、半導体及び電子部品向け製品の出荷が堅調に推移すると見込んでおります。

以上を踏まえ、通期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

2027年３月期 通期連結業績予想数値（自　2026年４月１日　至　2027年３月31日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（2026年５月13日発表） | 52,000 | 4,500 | 4,700 | 3,100 | 332円55銭 |
| 今回修正予想 | 52,000 | 5,700 | 5,700 | 3,800 | 407円41銭 |
| 増減額 | － | 1,200 | 1,000 | 700 | － |

2027年３月期 配当予想

| | 年間配当金 | | |
|---|---|---|---|
| | 第２四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 |
| 前回発表予想（2026年５月13日発表） | 67.00 | 67.00 | 134.00 |
| 今回修正予想 | － | 96.00 | 163.00 |
| 当期実績 | 67.00 | － | － |
| 前期実績（2026年３月期） | 41.00 | 51.00 | 92.00 |

詳細につきましては、本日（2026年11月９日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,552 | 14,469 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 11,562 | 13,002 |
| 電子記録債権 | 1,277 | 2,158 |
| 商品及び製品 | 4,715 | 4,991 |
| 仕掛品 | 2,179 | 2,233 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,125 | 3,491 |
| その他 | 747 | 1,226 |
| 貸倒引当金 | △245 | △252 |
| 流動資産合計 | 38,915 | 41,321 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,780 | 6,579 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,213 | 3,054 |
| 土地 | 10,688 | 10,667 |
| その他（純額） | 1,114 | 1,116 |
| 有形固定資産合計 | 21,796 | 21,416 |
| 無形固定資産 | 608 | 705 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,485 | 1,945 |
| 貸倒引当金 | △40 | △40 |
| 投資その他の資産合計 | 1,445 | 1,904 |
| 固定資産合計 | 23,850 | 24,026 |
| 資産合計 | 62,765 | 65,348 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,502 | 5,137 |
| 電子記録債務 | 679 | 529 |
| 短期借入金 | 3,575 | 3,596 |
| 未払法人税等 | 255 | 341 |
| 賞与引当金 | 665 | 710 |
| 役員賞与引当金 | 44 | 14 |
| その他 | 2,378 | 2,484 |
| 流動負債合計 | 12,101 | 12,814 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,279 | 2,588 |
| 退職給付に係る負債 | 3,212 | 3,522 |
| 役員退職慰労引当金 | 17 | 19 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,481 | 2,481 |
| その他 | 725 | 741 |
| 固定負債合計 | 9,716 | 9,352 |
| 負債合計 | 21,817 | 22,167 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,797 | 7,797 |
| 資本剰余金 | 3,113 | 3,093 |
| 利益剰余金 | 16,526 | 17,842 |
| 自己株式 | △174 | △167 |
| 株主資本合計 | 27,262 | 28,567 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 45 | 42 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2 | 10 |
| 土地再評価差額金 | 5,269 | 5,269 |
| 為替換算調整勘定 | 5,382 | 6,119 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 500 | 393 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,196 | 11,835 |
| 非支配株主持分 | 2,489 | 2,777 |
| 純資産合計 | 40,948 | 43,180 |
| 負債純資産合計 | 62,765 | 65,348 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 24,262 | 26,127 |
| 売上原価 | 16,107 | 17,002 |
| 売上総利益 | 8,155 | 9,125 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,061 | 6,279 |
| 営業利益 | 2,093 | 2,846 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 102 | 137 |
| 受取配当金 | 10 | 9 |
| 為替差益 | 156 | － |
| 補助金収入 | 66 | 66 |
| その他 | 102 | 79 |
| 営業外収益合計 | 437 | 293 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 59 | 51 |
| 為替差損 | － | 177 |
| その他 | 108 | 58 |
| 営業外費用合計 | 167 | 287 |
| 経常利益 | 2,363 | 2,851 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | － | 114 |
| 特別損失合計 | － | 114 |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,363 | 2,737 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 533 | 702 |
| 法人税等調整額 | 70 | △125 |
| 法人税等合計 | 604 | 577 |
| 中間純利益 | 1,759 | 2,160 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 228 | 367 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,531 | 1,792 |

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 1,759 | 2,160 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4 | △2 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 13 |
| 土地再評価差額金 | △1 | － |
| 為替換算調整勘定 | △1,181 | 736 |
| 退職給付に係る調整額 | △4 | △105 |
| その他の包括利益合計 | △1,182 | 640 |
| 中間包括利益 | 577 | 2,801 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 412 | 2,442 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 164 | 358 |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,363 | 2,737 |
| 減価償却費 | 895 | 823 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | △11 | 319 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △5 | 1 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 52 | 46 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △34 | △29 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 9 | △0 |
| 固定資産除却損 | － | 114 |
| 受取利息及び受取配当金 | △112 | △147 |
| 支払利息 | 59 | 51 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △946 | △2,180 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 86 | △524 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △409 | 421 |
| その他 | 253 | △946 |
| 小計 | 2,200 | 687 |
| 利息及び配当金の受取額 | 114 | 147 |
| 利息の支払額 | △60 | △53 |
| 法人税等の支払額 | △531 | △615 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,723 | 165 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △30 | △639 |
| 定期預金の払戻による収入 | 214 | 760 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △413 | △336 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3 | 2 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △0 |
| その他 | △14 | △116 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △239 | △330 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △26 | 350 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,325 | △1,020 |
| 配当金の支払額 | △372 | △475 |
| その他 | △113 | △133 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,837 | △1,279 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △744 | 404 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △1,098 | △1,039 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,063 | 13,842 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 11,964 | 12,802 |

（４）注記事項

（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社における税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 中間連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 電子・機能製品 | フィルム・シート製品 | 建材関連 | エンジニアリング | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,231 | 10,460 | 3,747 | 1,823 | 24,262 | － | 24,262 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 29 | － | 2 | 87 | 120 | △120 | － |
| 計 | 8,261 | 10,460 | 3,749 | 1,911 | 24,382 | △120 | 24,262 |
| セグメント利益 | 722 | 1,413 | 78 | 190 | 2,405 | △311 | 2,093 |

（注）１　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 中間連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 電子・機能製品 | フィルム・シート製品 | 建材関連 | エンジニアリング | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,467 | 11,697 | 3,477 | 2,485 | 26,127 | － | 26,127 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 33 | － | 1 | 242 | 276 | △276 | － |
| 計 | 8,500 | 11,697 | 3,479 | 2,727 | 26,404 | △276 | 26,127 |
| セグメント利益 | 905 | 1,994 | 42 | 162 | 3,104 | △258 | 2,846 |

（注）１　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

（株主資本の金額の著しい変動）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する事項）

該当事項はありません。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 電子・機能製品 | フィルム・シート製品 | 建材関連 | エンジニアリング | 計 | |
| 機能化学品 | 2,359 | － | － | － | 2,359 | 2,359 |
| 機能樹脂 | 2,988 | － | － | － | 2,988 | 2,988 |
| 電子素材 | 2,913 | － | － | － | 2,913 | 2,913 |
| 加飾機能フィルム | － | 4,538 | － | － | 4,538 | 4,538 |
| 光学機能フィルム | － | 5,921 | － | － | 5,921 | 5,921 |
| 建材関連 | － | － | 3,749 | － | 3,749 | 3,749 |
| エンジニアリング | － | － | － | 1,911 | 1,911 | 1,911 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 8,261 | 10,460 | 3,749 | 1,911 | 24,382 | 24,382 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | △29 | － | △2 | △87 | △120 | △120 |
| 外部顧客への売上高 | 8,231 | 10,460 | 3,747 | 1,823 | 24,262 | 24,262 |

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 電子・機能製品 | フィルム・シート製品 | 建材関連 | エンジニアリング | 計 | |
| 機能化学品 | 2,497 | － | － | － | 2,497 | 2,497 |
| 機能樹脂 | 2,997 | － | － | － | 2,997 | 2,997 |
| 電子素材 | 3,005 | － | － | － | 3,005 | 3,005 |
| 加飾機能フィルム | － | 5,188 | － | － | 5,188 | 5,188 |
| 光学機能フィルム | － | 6,509 | － | － | 6,509 | 6,509 |
| 建材関連 | － | － | 3,479 | － | 3,479 | 3,479 |
| エンジニアリング | － | － | － | 2,727 | 2,727 | 2,727 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 8,500 | 11,697 | 3,479 | 2,727 | 26,404 | 26,404 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | △33 | － | △1 | △242 | △276 | △276 |
| 外部顧客への売上高 | 8,467 | 11,697 | 3,477 | 2,485 | 26,127 | 26,127 |

（注）当中間連結会計期間より事業管理区分を見直し、従来の「フィルム」「ステッカー」については「加飾機能フィルム」に、「再帰反射シート」については「光学機能フィルム」に変更しております。
なお、前中間連結会計期間については、変更後の区分に組み替えて記載しております。